

会 告

第 17 回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：線および線材の製造技術の動向 ——

第 17 回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので多数ご来聴下さるようご案内いたします。

1. 期 日 昭和 47 年 8 月 29 日 (火) 30 日 (水)

2. 会 場 農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階 Tel. 03-279-0311)

3. 演題および講師

第 1 日 9:30~12:00	線材および線の利用の現状と将来	神戸製鋼所 浅田 幸吉君
13:00~15:00	線材の製造法	新日本製鉄 原田 利夫君
15:00~17:00	冷鍛用線材の問題点	住友金属工業 福田 隆君
第 2 日 9:30~12:00	高炭素鋼線の製造技術上の問題点	神鋼鋼線工業 土井 明君
13:00~15:30	硬鋼線の調質	住友電気工業 武尾敬之助君

4. 講演概要

1. 線材および線の利用の現状と将来

神戸製鋼所 浅田 幸吉君

近年線材および線の製造技術の進歩、並びにこれと呼応してその加工技術の向上は極めていちぢるしく線材の利用範囲は増々多方面に拡大され、最近の線材製品の用途構成は従来とかなり様相がことなつてきている。

本講座では、現状の線材の利用状況の実体をのべ、更に最近注目を集めている、スチールコードなどの極細線製造技術の開発による繊維部門への進出状況、太物線材製造技術確立にともなう冷間圧造分野の拡大状況、高張力鋼加工技術の進歩による建設分野への大幅な進出、更に寸法精度の向上あるいは適正なる線材冷却技術の確立などによる次工程に対する工程省略、合理化の実体、など線材製品の実例について線材製造技術の開発並びに加工技術の改善と結びつけて現状と将来の展望についてのべる。

2. 線材の製造法

新日本製鉄 原田 利夫君

1. BILLET MAKING

BILLET MAKING の概要 連鑄材適用可能鋼種
鋼塊法と連鑄法との比較

2. 圧延法

孔型系列 圧延作業法、最近の高速度圧延と大単重コイルの製造

3. 品質管理

鋼片手入方法 品種別検査法 大チャージの特性

4. 圧延設備

圧延設備発達の歴史 圧延設備の型式の分類 圧延設備の今後の問題点

5. 線材の直接熱処理法

各種の直接熱処理法の概要

3. 冷鍛用線材の問題点

住友金属工業 福田 隆君

各種の冷間鍛造加工を各加工の特徴によつて整理統合した加工系統図と、各加工中にあらわれる破断形式を整理分類した破断分類図との対応づけによつて冷間鍛造加工における割れの問題を割れの実例と共に述べ、次いで、線材の冷鍛性に影響を及ぼす各種要因、たとえば、材質、熱処理、引抜き減面率、表面疵等について論ずる。

4. 高炭素鋼線の製造技術上の問題点

神鋼鋼線工業 土井 明君

最近の高炭素鋼線製造技術の動向は、より高強度高靱性を得るよう試みられており、特にプレストレストコンクリート用鋼線では C 量の増加による高強度化、太径化の方向にある。ここでは製造の主工程であるパンティング、伸線加工をとりあげ、特に連続伸線中の歪時効による靱性の低下、Al 添加による N 固定の影響などについて述べる。また太径高強度鋼線製造のための添加元素による焼入性改善の効果についてもふれる。

5. 硬鋼線の調質

住友電気工業 武尾敬之助君

硬鋼線、ピアノ線、オイルテンパー線などの高炭素鋼、低合金系の高抗張力鋼線類は、ばね、ロープ、プレストレストコンクリート用緊張材などに広く用いられている。これらの用途に最適の性能を付与するために、熱間圧延後、線引後、撚線後、各種成型後などで、いろいろな処理—たとえばブルーイング、ストレッチング、セッチング、表面処理など—が施されている。これらの処理の目的やその機構などについて述べてみたい。

5. 聴講無料

6. テキスト代 2000 円

7. 問合せ先 日本鉄鋼協会 編集課 TEL 03-279-6021

第84回講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第84回(秋季)講演大会を昭和47年10月18日(水)、19日(木)、20日(金)の3日間名古屋大学で開催いたしますが、これを機会に10月18日懇親会、19日婦人見学会、21日(土)工場見学会を下記により開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

記

1. 見学会

- | | | |
|--------|-------|----------------|
| ○ 期 日 | 1班～3班 | 昭和47年10月21日(土) |
| | 婦人コース | 〃 10月19日(木) |
| ○ 申込締切 | 1班～3班 | 昭和47年9月13日(水) |
| | 婦人コース | 〃 9月30日(土) |

2. 懇親会

- | | |
|--------|----------------------------|
| ○ 期 日 | 昭和47年10月18日(水) 18:00～20:00 |
| ○ 申込締切 | 〃 9月30日(土) |

3. 申込方法

下記「見学参加申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙(1人1枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受付いたしません。なお銀行振込みならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。

4. 申込先

100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会見学会係 TEL 03-279-6021 (代)

見学会参加申し込み上の注意

- 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
- 申し込み締切りは工場見学は9月13日(水)17時着信まで、婦人見学班9月30日(土)12時着信までとします。
- 申し込みは1人1班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第3希望まで順位をご記入下さい。
- 見学希望数が半数に満たない場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
- 見学会が中止となった場合は、大会終了後2週間以内に会費を返金いたします。ただし、お申し込みの取消しは9月5日16時着信までとし、以後は取消しの申し出があっても返金いたしません。
- 各班とも工場内での写真撮影は禁止といたします。また見学班表中*印は同業者の見学をお断りいたします。
- 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券と一つしよに送付いたします。

懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇談会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気での催しとしたいと思っておりますので、多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

記

- | | |
|----------|---|
| 1. 日 時 | 昭和47年10月18日(水) 18:00～20:00 |
| 2. 会 場 | 愛知会館大ホール(名古屋市東区赤荻町 2-52) TEL 936-5171 |
| 3. 会 費 | 1500円(同伴夫人はご招待いたします) |
| 4. 申込締切日 | 昭和47年9月30日(土) |
| 5. 申込方法 | 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
銀行振込ならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。 |
| 6. 申込先 | 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話 東京 03-279-6021 |

第84回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 1班～3班 昭和47年9月13日(水)

婦人コース “ 9月30日(土)

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会見学会係

会員資格	名誉	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな氏名					
勤務先および職名					
勤務先所在地 (郵便番号)					
領収書送付先 (郵便番号)					
通信先(勤務先と違う場合) (郵便番号)					
第1希望 第2希望 第3希望 (婦人コース)		班 班 班		送金額 円	

.....切.....取.....線.....

第84回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和47年9月30日(土)

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな氏名				
勤務先および職名				
勤務先所在地 (郵便番号)				
領収書送付先 (郵便番号)				
通信先(勤務先と違う場合) (郵便番号)				
ご夫人名			送金額 円 1500	

第 8 4 回 講 演 大 会 見 学 班 表

10 月 21 日 (土曜日)

班	定員	見 学 先	事 業 内 容	所 在 地	見 学 時 間	集 合, 出 発 場 所・時 間 帰 着 場 所・時 間	見 学 参 加 費 備 考
1	50	新 日 本 製 鉄 (株) 名 古 屋 製 鉄 所 大 同 製 鋼 (株) 知 多 工 場 愛 知 用 水 佐 布 里 池	製 鉄, 製 鋼, 圧 延 製 鋼, 圧 延, 特 殊 鋼 材	東 海 市, 東 海 町 5-3 東 海 市, 元 浜 町 39 東 海 市	10.00~12.00 13.00~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 17.00	1,500 円 (昼 食 費 を 含 む) (帰 路 観 光)
2	50	新 東 工 業 (株) 豊 川 製 作 所 * O S G 株 式 会 社 豊 川 稻 荷	コ ン ベ ア ・ プ ラ ン ト, 溶 解 造 型 装 置, 集 塵 装 置 精 密 切 削 工 具, 測 定 工 具, 精 密 工 作 機 械 製 造	豊 川 市, 市 田 町 愛 知 県, 宝 飯 郡 一 宮 町 豊 川 市	10.30~12.00 13.00~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 17.00	1,800 円 (昼 食 費 を 含 む) (帰 路 観 光)
3	50	矢 作 製 鉄 (株) * 東 洋 ベ ア リ ン グ 製 造 (株) 桑 名 工 場 薩 摩 義 士 史 跡 千 本 松 原	鑄 物 用 鋸, 合 金 鋸, 鑄 物 各 種 ベ ア リ ン グ 製 造	名 古 屋 市, 港 区 昭 和 町 18 桑 名 市, 大 字 東 方 桑 名 市	10.00~12.00 13.00~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 17.00	1,500 円 (昼 食 費 を 含 む) (帰 路 観 光)

工場は写真撮影禁止 *印: 同業者の見学お断り

10 月 19 日 (木曜日) 婦人コース

班	定員	見 学 先	内 容	所 在 地	見 学 時 間	集 合, 出 発 場 所・時 間 帰 着 場 所・時 間	参 加 費 考
婦 人 班	30	明 治 村, 入 鹿 池 日 本 ラ イ ン 下 り	観 光	犬 山 市 美 濃 加 茂 市 一 犬 山 市	10.30~12.30 13.30~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 16.30	2,000 円 (明 治 村 入 場 料, 乗 船 料, 昼 食 費) を 含 む (婦 人 優 先)

第 84 回講演大会討論会のお知らせ

昭和 47 年 10 月 18 日～20 日開催の本案第 84 回(秋季)講演大会討論会は、それぞれ下記のごとく決定いたしましたのでお知らせいたします。

本討論会概要は「鉄と鋼」第 58 年第 10 号(9 月号)に掲載し、講演に対する質問を応募いたします。また本討論会の概要は講演概要号(11 号)には掲載いたしませんので、あらかじめご承知おき下さるようお願いいたします。

I 高炉の羽口破損の機構について

- 討-1 高炉における羽口破損の実情とその対策
討-2 羽口溶損機構に関する実験と計算

座長 八塚 健夫

新日鉄 広畑○星出 雄二・米崎 茂穂・松原 典男
住金 中研○松永 省吾・山岡 弘
広畑 原田 幸一
川鉄 千葉 長井 保○栗原 淳作・近藤 幹夫
技研 福武 剛・稲谷 稔宏

- 討-3 送風羽口の破損について

II 溶鋼の真空脱ガス—操業と材質—

- 討-4 DH 脱ガス処理による清浄鋼の製造について

座長 渡辺 省三

副座長 浅野 鋼一

鋼管 技研○榊井 明・坂田 直起
工博 根本秀太郎
京浜 大久保益太

- 討-5 RH 真空脱ガス法における脱酸処理法の非金属介在物ならびに鋼材材質に及ぼす影響について

新日鉄 広畑○有馬 良士・佐伯 毅・木部 昌臣
製品研 中野 武人

- 討-6 DH 吸上脱ガス法の効果について

住金 和歌山 梅田洋一○丸川 雄浄・岸田 達

III 熱間加工の温度、速度、加工度と組織

座長 中村 正久

- 討-7 ねじり変形における熱間定常状態変形とレストレーション過程

東工大 工博 中村 正久
院 ○植木 正憲

- 討-8 熱間加工温度下における極軟鋼の変形挙動

大同 中研 大宝 雄蔵
東理大 工博 作井 誠太

- 討-9 熱間圧延による顕微鏡組織および機械的性質の変化

鋼管 技研○小指 軍夫・田中 淳一
福山 大須賀立美

- 討-10 18 Cr-12 Ni 鋼の高温加工焼入および熱冷加工

金材技研 工博○山崎 道夫・小泉 裕

IV 鋼の低温焼もどしによる炭化物の析出とその影響

座長 西山 善次

- 討-11 鋼のマルテンサイト低温相と常温以下焼戻し

阪大 基礎工 理博 藤田 英一

- 討-12 鋼の焼戻し第一段階における析出炭化鉄と常温時効に伴う鋼の内部構造変化

東工大 工 理博○長倉 繁磨・弘津 禎彦
工博 今井勇之進

- 討-13 炭素鋼の焼戻し過程に現われる ϵ -炭化物について

東北大 金研 工博 増本 健・工博 小倉 次夫
大学院○井上 明久

- 討-14 高炭素マルテンサイトの焼もどし過程における炭化物析出

住金 中研 理博○大森 靖也
鹿島 杉沢 精一

V 鉄鋼の格子欠陥—マルテンサイトと格子欠陥—

座長 橋口 隆吉

- 討-15 マルテンサイト変態と転位

東北大 金研 理博 角野 浩二

- 討-16 マルテンサイトの内部微細組織

阪大 産研 理博 清水 謙一

- 討-17 鉄マルテンサイトの格子欠陥と変形挙動

京大工 工博 田村 今男

VI 鋼中の析出物および非金属介在物の態別定量

座長 成田 貴一

- 討-18 電解抽出法による鋼中介在物離上の問題点 鋼管 技研○石井 照明・西田 岱輔・工博 井樋口 睦

- 討-19 鋼中炭化物の抽出分離定量法における問題点 神鋼 中研 工博 成田 貴一・原 寛

- 討-20 低合金鋼中のクロムの状態分析トピー ○宮本 醇・岩切 治久

- 工博 若松 茂雄

- 討-21 鋼中析出物介在物粒度別分離分析法 新日鉄 基礎研 工博 田口 勇

- 討-22 水素雰囲中加熱による鋼中窒素の状態別定量について 新日鉄 基礎研 川村 和郎○大坪 孝至
森 隆

第 84 回講演大会参加者宿舎あつせんについて

第 84 回講演大会が 10 月 18 日～20 日名古屋大学において開催されますが、大会参加のため宿舎を必要とされる方は、下記事項を了承のうえお申込み下さい。

1. 申込方法 下記「宿舎あつせん申込書」に必要事項を記入し、予約金として、一泊につき 1,000 円を添えて、直接期限内に申し込んで下さい。
2. 宿泊料 宿泊料は一人にき夕・朝食の 2 食付で下記のとおりです。

個室 A	4,000 円 (税・サービ ス料別)	同室 A	3,500 円 (税・サービ ス料別)
〃 B	3,000 円 (〃)	〃 B	2,500 円 (〃)
〃 C	2,500 円 (〃)	〃 C	2,000 円 (〃)

3. 申込あて先 〒 460 名古屋市中区東瓦町 80-2
名古屋市中観光旅館連盟 (TEL) 052-241-7508・052-241-2953
4. 申込期間 昭和 47 年 9 月 1 日～9 月 20 日 (厳守)
5. ご 通 知 指定旅館から受書、旅館案内図を 9 月末日ごろまでにお送りします。

..... 切..... 取..... 線.....

宿 舎 あ つ せ ん 申 込 書

フリガナ			年 令	性 別
氏 名			才	男 女
住 所	郵便番号		TEL 局 番	
			寄宿先の場合	方
希 望 別	個室 A・B・C	同室 A・B・C	※第 1 希望には◎印、第 2 希望には○印をつけてください。	
宿 泊 希 望 日	月 日から 月 日まで (泊 日)	宿泊人員	男 人	女 人
到 着 日 の 夕 食	要 ・ 否			

※ 予約金 1,000円×()泊×()人=()円
 予約とり消しの場合は宿泊日の 10 日前までにご連絡下さい。
 ご連絡のない場合は予約金はお返しいたしません。

昭和48年春季(第85回)講演大会討論会討論講演募集のお知らせ

—申込締切：昭和47年8月14日—

記

1. 討論会テーマ

(1) 装入物の性状と高炉操業について

座長 鈴木 駿 一君

高炉操業においてその通気性に対し装入物性状のおよぼす影響は大で特に装入時の形状、還元時の粉化、溶融帯の挙動が重要であろう。これらを推定するために熱間の還元時の挙動の試験法として熱割れ、還元粉化、ふくれ試験などが行なわれている。この討論会では、これら試験結果と操業結果を振り返って装入物の性状としてどのような性状が必要か、操業にマッチするような試験はどうあるべきかなどについて討論したい。

(2) 連続鑄造の凝固について

座長 高橋 忠 義君

連続鑄造の凝固現象において、操業上および鑄造条件上、一般鑄造凝固条件と比較して凝固形態に強く影響する諸因子に注目すると共に、凝固組織と偏析現象に主体をおいた基礎および実際の研究内容の発表を望みます。

今後このような討論を積重ねることにより連続鑄造に関する問題点の解明に努力したい。

上記のような主旨でありますので、できるだけ重要現象は卒直に述べられることを期待します。

(3) 熱延原板性状が冷延鋼板の形状におよぼす影響について

座長 児 子 茂君

平坦な形状のすぐれた冷延鋼板をうるためには、まず熱延原板の形状(クラウン、プロフィール)があげられる。熱延原板の形状は圧延材の材質、スラブ加熱条件、熱延作業条件(ロールクラウン、ロール材質、ロール摩耗度、ロール及び板の冷却の問題など)が考えられ、次に冷延作業条件(圧下率配分、ロールクラウン、張力及び板とロール間の摩擦条件)スキンパス作業条件(ロールクラウン、ロールベンディング)および精整ラインのレベラー矯正条件が考えられる。また硬度に代表される板幅方向のこれ等熱延原板の内質差も形状に影響を与える。

今回のテーマとしては、特に熱延原板の形状が最終の形状におよぼす影響因子を抽出して述べようとするもので、特に熱延板のクラウン、プロフィール(局所的な形状を含む)および内質が最終成品の形状におよぼす影響を実際の操業のデータを基として述べようとするものである。

(4) 非調質高張力鋼の制御圧延—冷却により得られる性質

座長 荒 木 透君

近年急速に発展しつつあるコントロールドローリングの手法と合金元素の組合せにより、きわめて強度と靱性のすぐれた高張力鋼を焼入焼もどしの調質によらないで得られるようになりました。以下の項目に関連する討論会向きの研究報告の講演出講を公募いたします。

1) 微量の合金元素 Nb, V, Ti がそれぞれ、パーライト・レデュースト鋼の制御圧延冷却処理によつて得られる材質に対して果す役割の比較 (r , α の再結晶成長阻止効果, 変態に対する影響, 固溶および析出現象, 介在物への効果, 等の比較)

2) 制御圧延により得た微粒処理鋼の強化機構と靱性との関連解釈 (Petch らの取扱い, 析出強化因子の評価, 変態を含む加工熱処理履歴による微細下部構造の寄与, 等)

(5) 鉄鋼中の不純物と格子欠陥

座長 橋 口 隆 吉君

不純物と転位の相互作用, 不純物と点欠陥との相互作用, 格子欠陥の見地から見た不純物の挙動などに関する討論. 鉄以外の BCC 金属も含む。

2. 申込締切日 昭和47年8月14日(月)

3. 申込方法 本誌前号綴込みの申込用紙(ブルー色)に必要な事項ならびに申込書裏面に450字程度の講演の抽象トクをお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出の抽象トクにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演前刷原稿締切日 昭和47年11月4日(土)

討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6,700字)に黒インクまたは墨をもちいて楷書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第59年第1号(昭和49年1月号)にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第59年第2号(2月号)に講演内容を掲載いたします。

8. 討論質問の公募締切日 昭和48年2月末日

前記2号掲載の講演内容をご覧のうえ、質問対象講演を明記のうえ、本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先：100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 (代)

第 16 回材料研究連合講演会プログラム

主催 日本学術会議材料研究連絡委員会, 日本鉄鋼協会ほか 22 学協会, 幹事学会化学工学協会, 土木学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本航空宇宙学会, 日本材料学会, 日本材料強度学会

開催日 昭和 47 年 8 月 25 日 (金), 26 日 (土)

会場 大阪科学技術センター (大阪市西区うつぼ 1 丁目 118)

特別講演

講演 「日本学術会議の現状について」
「放射線照射した材料の微視的構造」

日本学術会議第 5 部長 石原藤次郎君
東京大学工学部教授 橋口 隆吉君

日程表

日	時 間	会 場		
		第 1 会 場 401 号室	第 2 会 場 404 号室	第 3 会 場 405 号室
第 1 日 8 月 25 日 (金)	9:00~12:00	101~109 (Ⅱ)	201~209 (Ⅰ)	301~309 (Ⅰ, Ⅰ)
	12:50~14:10	特別講演, (第 1 会場において)		
	14:20~17:00	110~117 (Ⅱ)	210~217 (Ⅱ)	310~317 (Ⅶ, Ⅴ)
第 2 日 8 月 26 日 (土)	9:00~12:00	118~126 (Ⅱ)	218~226 (Ⅲ, Ⅱ)	318~326 (Ⅰ, Ⅵ)
	12:50~17:00	127~138 (Ⅱ, Ⅰ)	227~238 (Ⅱ, Ⅵ)	327~338 (シンポジウム, Ⅶ)

講演前刷集 (全講演 114 題集録) を予約頒布いたします。印刷部数に制限がありますので、8 月 10 日 (木) までに代金を添えて下記へお申込み下さい。

予約価 1 冊 1200 円 (締切以後 1 冊 1500 円) 予約制を立前としておりますので期日までにお申込み下さい。当日ならびに講演会後は 1500 円となります。

申込方法 はがき大の用紙に「第 16 回材料連合講演会前刷集申込み」と記し、氏名、送本先を明記のうえ代金を添えて、つぎの申込先へお送り下さい。

申込先 日本材料学会 京都市左京区吉田泉殿町 1 の 101 Tel. (075) 761-5321 振替口座 京都 26625 番

プログラム (鉄鋼関係講演のみを掲載いたしております。講演期日、会場は日程表でご覧下さい)。

[材料の力学的性質と挙動]

104 オーディング法による 2~3 の実用鋼の応力緩和試験 日立製 篠田 哲守, ほか

105 鋼材の高温硬さと高温引張特性の関係について 鳥取大工 川越 治郎, ほか

107 高静水圧下における鋼の延性増加の特徴 広 大 工 森沢 二郎, ほか

110 軟鋼の歪模様の解析 東 大 工 塩谷 義

111 高温における降伏曲面について 京 大 工 田中喜久昭, ほか

112 バウシニング効果による軟鋼の降伏曲面の変化 山形大工 武田 武信, ほか

303 軟鋼の超音波疲れに関する研究 (光学顕微鏡使用) 芝浦工大 竹井 幹夫, ほか

304 予ひずみ材の疲れにおける組織変化 新日鉄 西田 新一

305 繰返し荷重による転位の増殖と鋼の耐久限迅速推定法について 東北大工 川崎 正, ほか

306 真空環境下における低炭素鋼の疲労損傷機構の X 線的研究 金沢大工 黒部 利次, ほか

[微視的構造]

307 18-8 ステンレス鋼の繰返し曲げ疲労過程において発生する組織変化 三井造船 横内 久, ほか

308 炭素鋼における疲労き裂の発生および伝ばにおける微視組織学的クライテリア

309 時間依存型破壊における累積被害の確率過程論的アプローチ 京大工 島田 具明, ほか

311 同一鑄鉄製品中の質量効果と Test piece の摘出法 東北大工 横堀 武夫

122 Cr-Mo 鋼の引圧疲れ特性におよぼす熱処理の影響 阪電通大 小野 兼雄

129 タフトライト処理鋼の疲労破壊に関する研究 (疲労限の推定について) 金材技研 増田 千利, ほか

130 ショットピーニングを施したばね鋼平板の繰返し曲げ変形限度と疲労破壊 武蔵工大 浅見 克敏, ほか

131 鋼の回転曲げ疲労過程で発生する歪エネルギー変化におよぼす温度変化の影響 豊田中研 吉川 和男, ほか

134 タフトライド処理鋼の疲労破面について 防衛大 青木 望, ほか

136 タフトライド処理鋼のき裂伝ばと下部組織 武蔵工大 小賀 正樹, ほか

[材料の力学的性質と挙動]

321 低炭素鋼の破壊挙動におよぼす温度の影響 武蔵工大 浅見 克敏, ほか

[シンポジウム]

327 パイプにおける亀裂伝ば停止条件に関する一考察 京大工 柳 在吉, ほか

[その他]

337 軟鋼のろう接強度におよぼす表面粗さと残留応力 新日鉄 三村 宏

日大理工 末沢 芳文

低炭素鋼の冷間圧延における変形強さと摩擦係数

主催・第Ⅳ総合分科；協賛・日本機械学会，日本鉄鋼協会，日本塑性加工学会

日 時 昭和47年8月22日(火) 10.30~16.30

場 所 住友クラブ1号集会室(大阪市西区土佐堀船町11-1 電話 06-443-1986)

- 座長 中島 浩衛 (10.30~12.30)
1. 低炭素鋼の冷間変形強さの基本的考え方
東大工 木原 諄二
 2. 実験室ミルと実機ミルにおける摩擦と潤滑について
日本鋼管 有村 透, ほか
座長 加藤 健三 (13.30~16.30)
 3. コールドタンデム圧延における摩擦係数
住金中研 永井 博司
 4. 冷間圧延における変形抵抗と摩擦係数に関する実験的研究
川鉄技研 中川吉左衛門
 5. 冷間圧延のエネルギー法的取扱いと摩擦係数
東大工 小豆島明, ほか
 6. 自由討論
前刷と参加申込みについて 1部200円(送料共)
シンポジウム前刷を用意いたします。希望者は通信先、氏名(勤務先、職名を記入して下さい)、シンポジウムへの出欠、前刷希望部数を明記の上、代金を添えて7月20日までに日本金属学会へお申込み下さい。
(7月30日頃発送予定)
(企画世話人 木原 諄二)

応力測定に関する講習会

主催 日本材料学会 協賛 応用物理学会，日本鉄鋼協会，ほか 11 学協会

期日 昭和47年8月23日(水)~26日(土) 4日間

会場 講義 日本化学会講堂(東京お茶の水)
実習 武蔵工業大学(東京世田谷区)

- 日程 第1日(8月23日) 講義
- 9:15~9:30 開会のあいさつ
鉄 研 岩本 貢
1. 9:30~11:00 応力測定総論
京大工 平 修二
 2. 11:00~12:30 脆性被膜法(応力塗料法)
豊田中研 青山 成恒
 3. 13:30~15:30 X線応力測定法の基礎と応用Ⅰ
(カウンタ法)
京大工 林 紘三郎
 4. 15:30~17:00 X線応力測定法の基礎と応用Ⅱ
(フィルム法)
武工大 吉岡 靖夫
- 第2日(8月24日) 講義
5. 9:30~10:30 X線応力測定技術と機器
山口大工 蒲地 一義
 6. 10:30~11:00 形状複雑な部品のX線応力測定技術
日本電装 夏目 喜孝
 7. 11:00~12:00 高硬度材料ならびに集合組織を有する材料のX線応力測定技術
住金中研 阪本 喜保
 8. 13:00~14:00 高硬度材料ならびに粗大結晶を有する材料のX線応力測定技術
豊田中研 並川 宏彦
 9. 14:00~15:00 単結晶、微小領域のX線応力測定技術
豊田中研 小長 哲郎

10. 15:00~17:00 応力測定法の材料強度研究への
・適用 名工大 林 建吉
第3日(8月25日), 第4日(8月26日)

入門コースと上級コースに分けて実習を行いません。

	入門コース	上級コース
8月25日午前	脆性被膜法	X線応力測定 1
午後	X線フィルム法	〃 2
8月26日午前	X線カウンタ法	脆性被膜法
午後	データ整理, 討論	X線応力測定 3
定員	講義および実習 60名 講義のみ上記の他に 40名	
講習料	講義および実習	会員 20,000円 非会員 23,000円
	講義のみ	会員 8,000円 非会員 10,000円

これらにはテキスト1冊分が含まれていますが、X線応力測定法の副テキストとして養賢堂発行の「X線応力測定法」も使用します。本書ご入用の方はお近くの書店にてご購入頂くか、上記講習料の他に1,600円を添えてお申込下されれば学会にて配布致します。なお申込みの際には氏名、所属、連絡先、希望コース等を随意用紙に明記して下記宛お送り下さい。

申込締切り 昭和47年8月10日(木)

申込先 日本材料学会講習会係
(京都市左京区吉田泉殿町
TEL 075-761-5321)

振替口座 京都 26625 番